

登別温泉の地獄谷展望台で訪日客に観光案内する札幌学院大の学生たち



札幌学院大生 ガイドで英語力磨く

登別温泉 訪日客をサポート

【登別温泉】札幌学院大（江別市）の人文学部英語英米文学科2年の学生7人が20日、登別温泉の地獄谷展望台で外国人観光客を英語で案内する実習に取り組んだ。訪日客への観光案内や写真撮影のサポートを通じ、実践的な英語力を磨いた。

昨年度から授業の一環として登別温泉での実習を実施している。現地でガイドを行っている登別市観光ボランティアガイド会の協力を受け、学生たちは事前にオンライン講義で登別温泉の歴史や特色を学び、準備を重ねてきた。

当日は学生たちが訪日客に積極的に声を掛け、「登別温泉には9種類の泉

「貴重な機会感謝されうれしい」

質がある」「ご当地グルメの『登別蕎麦やきそば』が有名」などと英語で紹介。観光客のカメラを預かり、記念撮影を手伝う姿も見られた。

参加した西川大貴さん（20）は「将来は中学校の英語教員を目指している。語学力を身につける貴重な機会になった。観光客に笑顔で感謝してもらえて、うれしかった」と話した。

ガイド会の松本極詩会長は「学生たちが温泉街の歴史について意欲的に学んできたことが伝わった。大変頼もしいガイドだった」と語った。

（伊勢裕太）